

大地震を疑似体験しました

6月25日(日)に第二町内会が起震車による地震疑似体験イベントを開催。約60人の住民が大地震による揺れを体験しました。当日は「しみずがおか幼稚園」の駐車場をお借りし、消防局から起震車を運んで来てもらいました。

起震車は、揺れの大・中・小のレベルを選択できる他に、過去の大地震のデータに基づいたシミュレーションも可能で、関東大震災の震度7の揺れも体験することができました。また、この日は子どもたちの参加も予想されていたので、実物の消防車の展示(乗車も可)と、風船釣りのゲームも用意しました。

起震車は消防署に依頼すると手配できますので、町内会単位で是非ご活用ください。



子どもたちも「ダンゴムシのポーズ」で揺れを体験



防災意識の啓発のために

子どもたちにも大人気



ボランティア 団体の活動日程

◆生活支援「チョコットしえんたい」

代表 春田(☎361-4986)
申込み 坂東(☎365-2828)
(☎090-1694-0584)

◆お茶べりサロン「さんさん」

代表 宮寺(☎361-7451)
第4水曜日 11時～14時 町内会館
9月27日・10月25日・11月22日

◆高齢者昼食会「蒴ぎ会」

代表 飯塚(☎363-0001)
第2水曜日 12時～14時 町内会館
9月13日・10月11日・11月8日

◆健康と趣味のサロン「サロンあさひ」

代表 小澤(☎954-0322)
毎週火曜日 13時～15時 町内会館
第1火曜<太極拳>
第2火曜<麻雀、おしゃべり、トランプ、百人一首>
第3火曜<太極拳>
第4火曜<もぎり絵、おしゃべり>

◆子育てサロン「わいわいクラブ」

代表 関川(☎951-1834)
第3木曜日 10時～11時45分 町内会館
9月21日・10月19日・11月16日

◆介護予防体操「スマイル体操」

代表 増田(☎391-5261)
第4金曜日 10時～11時30分 町内会館
9月22日・10月27日・11月24日

◆引きこもり予防

「ノルディックウォーク同好会」
代表 山田(☎364-1386)
申込み 坂東(☎365-2828)
第1日曜日 9時30分～12時
事前に集合場所・目的地・参加費を連絡
9月3日・10月1日・11月5日



二俣川ニュータウンだより

Vol.5

◆編集・発行 二俣川ニュータウン連合町内会 二俣川ニュータウン地区社会福祉協議会

2023(令和5)年
8月26日発行

4年ぶり! 社協「第29回福祉まつり」を開催



開始早々、たくさんの来場者でにぎわう会場 手前のテント群はフリーマーケット

4年ぶりとなる「福祉まつり」が6月10日(土)、中沢小学校で開催されました。曇り空の中にも時々太陽が顔を出すなど天候にも恵まれ、約1,000人の方々(カレーライス販売数627食から推測)にご来場いただきました。

前日、各町内会では、バザーのために班長宅に集めた物品を雨の中、連合町内会館まで運んでいただいたほか、当日も早朝から、地域の各種団体や社協・町内会の役員など140名以上の方々に、会場のテント張りや出店の準備・販売等にご協力いただきました。おかげさまで子どもから高齢者まで、多世代が交流する絶好の機会となりました。まことにありがとうございました。

今回初めて、近隣にある「神奈川県立よこはま看護専門学校」のご協力をいただくことになり、学生・教員合わせて24名の方々が「ロコモダンス」の指導・実演や地域ケアプラザが図書室で開催した「健康チェック」、出店の販売お手伝いなどに汗を流してくださいました。心から感謝申し上げます。

同時に開催された「町内会対抗三世代輪投げ」競技は、第一町内会が優勝、北二町内会が準優勝しました。両町内会の合同チームが11月に開催される旭区民スポーツ祭区大会にニュータウン地区の代表チームとして出場します。

準備・運営にご協力いただいた方々

福祉協力員	29名
青少年指導員	10名
スポーツ推進委員	10名
家庭防災員	8名
消費生活推進員	3名
保健活動推進員	5名
環境事業推進委員	12名
民生委員	8名
元社協委員	3名
旧ニュー子連	4名
さんさん	5名
わいわいクラブ	2名
サロンあさひ	2名
蒴ぎ会	5名
チョコットしえんたい	6名
地域ケアプラザ	4名
県立看護専門学校	24名
合計	140名

<編集後記>4年ぶりに「福祉まつり」を開催することができました。コロナ禍の潮目が確実に変わりましたね。コロナ禍の3年間はデメリットばかりだと思っていましたが、毎年繰り返されてきたイベントが止まることにより、見直す時間を与えてくれました。今回の「福祉まつり」再開にあたっては、「福祉」の意義を再確認する助けになればと、県立看護専門学校にお声掛けしたところ、24名の方々が参加してくださいました。コロナによる中断がなければ、こんな発想も生まれなかったかもしれません。立ち止まって考えることもたまには必要ですね。

◆発行責任者 / 連合町内会 会長 山内良夫 社会福祉協議会 会長 宮寺良孝
◆編集委員 / 阿久井直美 小菅昭 福本瑠美子 小川美枝子 石村保子 小野寺慎一郎

二俣川ニュータウン地区ホームページ
連合町内会: <https://www.futamatagawa-newtown.com>
社会福祉協議会: <https://fnt-shakyo.sakura.ne.jp/>



出店

カレーライス お菓子の掴み取り 水あめ ラムネ 焼き鳥 ポップコーン
綿菓子 サイコロゲーム 地場野菜 バザー ロコモダンス フリーマーケット
健康チェック



バザーに提供いただいた物品を格安で販売



大好評の「やきとり」は終了前に完売しました



看護学校の学生さんによる「ロコモダンス」教室



「三世代輪投げ」は第一町内会チームが優勝

毎週日曜日 10:20~10:40 移動スーパーの営業がスタート

7月23日(日)から、<そうてつローゼン>による移動スーパーがスタートしました。出店場所は第6バス停近く、あきこれ公園の前にある民間駐車場の一角で、所有者の新川明様のご厚意により無料で利用させていただいています。

この地域では数年前にコンビニ店が閉店したため、高齢者を中心に買い物に困っていました。そこで今回、連合町内会が旭区役所、社協、今宿地域ケアプラザ等と連携し、移動スーパーを誘致しました。

スタート初日はご近所の方が大勢来られて、パンやお弁当、野菜やお肉、アイスクリームやスイカなどを購入されていました。今後、品ぞろえについては、お客さんの要望に応じて柔軟に対応してくれるそうです。

旭区の区民意識調査によれば、二俣川ニュータウンは住みよい街として満足度は高いのですが、唯一満足度が低いのが「買い物のしやすさ」です。今後、コンビニ等の誘致も検討を進めますので、皆様のご協力をお願いいたします。



棚には沢山の商品、そして冷たいアイスクリームも



初日の様子です。大勢の方々に来ていただきました

防災 ニュータウンの防災力を一層高めるために「防災部」を創設しました

関東大震災並みの地震の到来が高い確率で予測されている中、地震災害等に強い街づくりを進めていくためには地域あげての防災活動の展開が不可欠です。

そこで連合町内会として、町内会、二つの地域防災拠点、地区社協、民生委員・児童委員、かがやきクラブ、消防団、家庭防災員、学校等の地域の防災関係団体が一堂に会する「防災部」(松田幹生代表)を5月に立ち上げました。

<1> 活動の2本柱

- ① 自助、共助、公助のうちで一番の柱となる“自分の身は自分で守る”「自助」の意識と行動力の向上
- ② 同じ地域に住む住民の“助け、助けられる、お互い様の心”「共助」の取組の推進

<2> 運営方針

- ① 関係団体の連携の強化
- ② 各町内会の防災力強化
- ③ 学校防災教育との連携強化

<3> 主な具体的な活動

- ① 町内会や諸団体への「防災出前講座」の開催
- ② 災害時要援護者名簿の町内会での有効活用
- ③ 各町内会の「町の防災組織」設立・活動支援
- ④ スタンドパイプ消火訓練など実践的防災訓練の実施
- ⑤ ペット避難、障がい者避難の検討など



5月28日に町内会館でキックオフミーティングを開催



木々に覆われた清来寺の境内。木陰が何よりありがたい季節です

ノルディックウォーク 清来寺を目指す

7月2日(日)、ノルディックウォーク同好会によるウォーキングが行われました。当初の予定では前回と同様にAチームとBチームの二手に分かれて、今宿南町の「清来寺」(行程1.5Km)と鶴ヶ峰の「駕籠塚」(同2.5Km)をそれぞれ目指す予定でしたが、当日は出発する時点で既に気温が30度近くまで上っており、熱中症のリスクを避けるために、全員で「清来寺」を目指すことになりました。

清来寺の境内は高木に覆われていてとても涼しく、気持ちの良いひとときを過ごせました。毎月第1日曜日に開催(8月はお休み)しています。4ページに申込み先等を記載していますので、皆さま是非ご参加下さい。



出発前に参加者全員で準備運動



交通量の少ない裏道を行きます